

## 第6回 うえだ七夕文学賞 募集要項

2020 年度版

上田市には、地域ゆかりの新田潤、久米正雄に加え、近代文学史上に名を残す夏目漱石、林芙美子、有島一郎、川端康成、池波正太郎など多くの作家達が訪れ、四季彩豊かな風景の中で秀逸な作品を生み出しました。

本文学賞のテーマにふさわしい短歌・俳句・自由詩を、園児、児童、生徒、学生だけでなく、広く一般の方々から募集します。

### ■テーマ

1. 「七夕」、「想い」、「願い」、「希望」、「祈り」
2. その他自由

### ■部門

1. 短歌
2. 俳句（自由律も可）
3. 自由詩

### ■部（応募資格）

1. 園児の部
2. 小学生の部
3. 中学生の部
4. 高校生の部
5. 大学生の部
6. 一般の部

### ■賞

1. 園児、小学生、中学生の部 <市長賞 教育長賞 秀逸賞 入選>
2. 高校生、大学生、一般の部 <優秀賞 秀逸賞 入選>

※その他、特別賞あり

■授賞式（出席対象者は、高校生、大学生、一般の部の受賞者のみとなります。）

2020年9月27日（日）、上田女子短期大学北野講堂において行います。

※園児、小学生、中学生の部は該当校へ訪問または郵送により表彰状等を授与いたします。

### ■応募規定

応募作品は、未発表の自作のものに限ります。

また、他のコンクールとの二重投稿や、すでに発表されている短歌・俳句・詩等に著しく類似したものは、選考の対象になりません。

### ■応募方法

1. ①短歌・俳句部門については、所定の「作品用紙」をご利用ください（ホームページよりダウンロードができます）。また、やむを得ずハガキを利用する場合は、氏名・住所・電話・性別・年齢（学年等）を必ず記入してください。  
②自由詩については、必ずタイトルをつけてください。手書きの場合は、400字詰め原稿用紙に、パソコン・ワープロ使用の場合はA4判用紙に1枚につき30字40行に縦書きしてください。  
③個人で作品を送付する場合、郵送・メールのいずれでもかまいません。
2. 団体で作品を送付する際、「応募用紙」に必要事項をご記入のうえ、必ず作品と併せて同封してください。所定の「作品用紙」を使用しない場合、氏名・学年・年齢（学年等）を必ず明記してください。
3. 漢字の当て字、当て読みの場合はルビをふってください（作品、氏名、住所等とも）。
4. ご応募は本名に限ります。 →裏面へつづく

■応募先 うえだ七夕文学賞実行委員会

送付先

【中学生の部】 〒386-8624 長野県上田市下塩尻 868 電話：0268-22-0412

上田西高等学校 国語科「うえだ七夕文学賞実行委員会」宛

メール：info@uedanishi.ed.jp

【その他の部】 〒386-1214 長野県上田市下之郷乙 620 電話：0268-39-7061（直通）

上田女子短期大学地域連携センター「うえだ七夕文学賞実行委員会」宛

メール：chiiki@uedawjc.ac.jp

■応募締切

2020年8月7日（金）

■選考

1. 短歌の部 神田重幸 先生

1940年 長野県生まれ

東洋大学名誉教授 近代日本文学専攻

「東洋大学全国学生百人一首」選考委員（元選考委員長）

島木赤彦研究会常任顧問

著書に『島木赤彦論』『島木赤彦周辺研究』『アララギ派歌人高田浪吉（上）（下）』

2. 俳句の部 星野椿 先生

1930年 東京生まれ 高浜虚子の孫 星野立子の長女

「玉藻」名誉主宰 鎌倉虚子立子記念館代表

「西日本新聞」、「神奈川新聞」俳壇選者

句集に『早椿』『華』『波頭』『雪見酒』『マーガレット』『椿四季集』

3. 自由詩の部 上田西高等学校・上田女子短期大学教員

■発表

2020年9月7日（月） 入選者には通知します。

■その他

1. 受賞作品の著作権は、すべて主催者に帰属します。
2. 入選作品については、上田女子短期大学・上田西高等学校のホームページ等で作品、作者名、年齢（生徒・学生の場合は学校・大学名、学年）を掲載します。
3. 入選作品については、作者名、年齢（園児・児童・生徒・学生の場合は園・学校・大学名、学年）を表示した全作品を作品集（冊子）に掲載して関係方面に配布します。
4. 応募作品は返却いたしません。
5. 応募に際し、取得した個人情報（上記目的及び目的に関わる事務連絡以外）に利用することはありません。
6. 第二次選考通過後、「第二次選考通過に伴う確認書」を送付いたします。こちらは入選のお知らせではなく、二次選考通過の皆さま全員にお送りするものです。返送のご協力をお願いします。